

安全性について

「ミラクリーン」はもともと、食品の鮮度保持を目的として開発された抗菌剤のため、安全性の確保を大前提としています。だからこそ「万が一口に入っても安全・無害」とうたうことができるのです。安全性の高さについては、各試験によって裏づけされています。

■ マウス皮膚一次刺激性試験 (東京女子医科大学付属東洋医学研究所)

各濃度(12.5%、25%、150%、100%)に希釈したミラクリーンをマウスの皮膚に塗布し、赤斑・浮腫の程度を1~72時間後の各時点で評点した。試験の結果、100%濃度(原液)においてもマウスの皮膚に対する刺激性は全く認められなかった。

■ マウス経口急性毒性試験 (東京女子医科大学付属東洋医学研究所)

ミラクリーンの原液をマウスに強制経口投与し、マウスの死亡の有無および症状について観察した。試験の結果、ミラクリーンの急性毒性値は、雄で32,960mg/Kg、雌で31,930mg/Kgであった。

<参考> パンやおにぎなどに防腐剤として使用される食品添加物ソルビン酸カリウムのLD50値は4,920mg/Kgであるため単純な数値だけの比較をすると、ミラクリーンは約6倍の安全性といえる。

■ 「水道法」に基づく水質基準をクリア (財団法人 日本食品分析センター)

検査の結果、水質基準で定めている不純物に関して、検出されないもしくは基準値を下回っている。

■ 食品衛生法に基づく清涼飲料水検査 (田辺製薬グループ 株式会社マルゴ検査センター)

検査の結果、水質基準で定めている不純物に関して、検出されないもしくは基準値を下回っている。

試験項目	結果	試験方法
混濁	認めず	目視
沈殿物	認めず	目視
固形異物	認めず	目視
ヒ素	検出せず	グットツァイト法
鉛	検出せず	原子吸光光度法
カドミウム	検出せず	原子吸光光度法
スズ	限度内	サリチルデンアミノ-2-チオフェノール法
大腸菌群	陰性	ガス発生法

- POINT**
- 食品添加物の約6倍の安全性
 - 清涼飲料水の検査基準をクリアしている
 - 『成分』が安全なのではなく『製品そのもの』が安全である

- だから**
- キッチン・リビング・寝室・衣類の収納場所など、幅広く使用できる
 - 赤ちゃんやペットのいる部屋でも、移動することなく安心して使用できる